

防災通信 No.12

この通信はみなさんの防災意識を高めていただき、少しでも被害を小さく出来ることを目的に作成しています。ご意見等ありましたらお寄せください。

(グリーンテラス本郷台自治会)

2021年も 新型コロナウイルス とお付き合い

ワクチンの登場が待たれる新型コロナウイルスですが、現時点ではとにかく **“予防”** するしかない状況です。日々の生活の中で実践できる感染予防策も少なくありません。

外出先から帰宅したときは玄関より家の中にはウイルスを持ち込まない——もはやこれはコロナ対策の定石です。コートやバックなどには外出先で感染者の飛沫がついた可能性があるので、消毒する。色落ちするものは玄関にひとまとめに置いておくようにする。もちろん手洗い・うがいもわずれずに心掛けたいことです。

なかには徹底するあまり玄関先ですべての服を着替えるという人もいるようですが、一連の行動には1つ盲点があるようです。国立がん研究センター中央病院・感染症部長 岩田 敏氏によりますと、「それは髪の毛です。感染症病棟の従事者は、病院を出るときにシャワー室で髪を洗って帰る人が多い。髪の毛は無意識のうちに手で触ってしまう人も多く、ウイルスが付着している可能性も。私も帰宅後はすぐにシャワーを浴びることを心がけています」とのことです。

KARADA内科クリニック院長で日本感染症学会専門医の佐藤 昭裕氏は、コロナ禍で大幅に増えた宅配の段ボールも **“死角”** になりうるそうです。

「コロナウイルスは場所によって生存時間が異なり、段ボールやティッシュペーパーなど紙の上ならば24時間、プラスチックやガラスは3~4日、といわれています。宅配の段ボールを触った後はすぐに手を洗うか置き配にして2日ほど外に置いたままにするかして、ウイルスをシャットアウトしてください」とのことです。



「浜松医療センター」院長補佐 兼 感染症内科部長 兼 医療安全推進室長 兼 衛生管理室長の 矢野 邦夫氏によると

「このウイルスの感染経路は感染者が咳やくしゃみをしたときに口や鼻から飛び出す飛沫を周囲の人が吸い込むのが殆どです。目の粘膜からウイルスが侵入して感染したという報告もあります。すなわち、新型コロナウイルスの体内への侵入口は「目」「鼻」「口」だけです。これら以外からは侵入できません

そこから侵入して、上気道（鼻腔、咽頭、喉頭）や下気道（気管、主気管支、肺）に入り込んでゆく」とのことです。

マスクを着用しても表面にウイルスが付着しているかもしれない、外出中は髪の毛や洋服にもウイルスが付着しているかもしれない、これらを考慮し各部分に触れない、触れた場合速やかに手をよく洗う。消毒をする。その他いろいろな状況があるでしょうが、とにかく「目」「鼻」「口」からの侵入を防ぐことが大事なようです。生活習慣も変わり大変ですが、まだまだ先は長そうです。

〈今年も油断せず頑張っていきましょう。〉